

令和8(2026)年度 第1回 下都賀地区臨時採用教員研修会を開催しました

日 時:令和8(2026)年6月16日(火)12:50~16:00

会 場:下野市立国分寺小学校

参加者

- (1) 栃木県教育委員会採用で令和8年4月1日時点で臨採経験1年未満の、まだ本研修を受けたことがない管内の常勤講師・助教諭・養護助教諭
- (2) 市町教育委員会採用の期限付き教員で令和8年4月1日時点で経験1年未満の、まだ本研修を受けたことがない希望者
栃木県教育委員会採用で、令和7年4月1日時点で臨採経験1年未満の、まだ本研修を受けたことがない管内の常勤講師・助教諭・養護助教諭

1 研修内容について

- (1) 目的
- ①授業参観及び授業研究会を通して、学習指導や児童・生徒指導、学級経営等について基礎的な指導力の向上を図り、自信と希望をもって日々の教育活動に取り組めるようにする。
 - ②服務規律の確保に努めることなど教員としての使命を自覚し、自己啓発に努めようとする姿勢を養う。
- (2) 内容
- ・授業参観
 - ・研究協議(教科・領域等部会、養護助教諭部会)
 - ・講話「臨時採用教員の服務について」 下都賀教育事務所学校支援課管理担当

2 本研修で確認したこと

(1) 学習指導について

- ねらいを明確にした授業展開
 - ・本時のねらいを達成するための、指導・支援、振り返りについて
- 教師の関わりや働きかけ・学級経営
 - ・子どもたちとの関係づくりにおける適切な言葉かけ、接し方、関わりについて
- 特別支援教育の視点からの授業づくり
 - ・安心感を高める指導・支援について

(2) 教職員の服務について

- 服務規律の確保等について
 - ・体罰及び言葉による暴力の禁止
 - ・交通事故・交通違反の防止
 - ・個人情報の適正な管理・SNS の不適切な使用の禁止

3 本研修で学んだこと(参加者が記入した〈研修の振り返り〉から)

- 教師が児童生徒と一緒に授業をつくることで一体感が生まれるため、児童生徒をよく観察し、対話することを意識して教育実践に生かしていきたいです。
- 授業のねらいを明確にして、そのねらいに向かってどのように指導や支援を行うかが大切であることを学びました。また、授業の最後に振り返りを行うことで、児童生徒自身ができるようになったことや頑張ったことを実感できることも改めて感じました。

- 道徳科の授業では、児童生徒の日常にある身近な葛藤を最初に提示し、主体的に考えている姿が印象的でした。今後は、資料をただ読むだけでなく、児童生徒の生活経験とどう結びつけるかを意識して教材研究を行っていきたいです。
- 授業後の研究協議で、ペアやグループで話し合う意味や、授業中の児童生徒のつぶやきを増やすためにはどうすればよいかについて話し合いました。ペアやグループにする意味は、他の意見に触れることで考えを広げるとともに深める意味があるということが理解できました。児童生徒のつぶやきを増やすことに関しては、自分事として考えられるような仕掛けがある授業だとつぶやきが増えるということが理解できました。
- 今回の研修で対話と観察によって信頼関係を築くことの大切さを学びました。児童との信頼関係が安心感につながり、学習意欲や行動の安定にも影響することを実感しました。今後は日々の関りの中で丁寧な対話を重ね、安心して学べる環境作りを意識していきたいと思います。
- 特別支援と聞いて、私はまず配慮が必要な児童生徒に向けた個別の指導を思い浮かべました。しかし授業内で話し方を工夫したり、指導や教材を視覚化したりするなどして「その児童生徒に伝わるように」行う全体指導が大切であると知りました。また、それを行うことで結果的に全体へ向けた、より分かりやすい指導になっていることに気が付きました。
- 班別協議を通して、児童の行動のみを見て指導するのではなく、「なぜその行動をしているのか」という背景や理由を考えることの重要性であることを学びました。
- 養護教諭の業務を進める上で保健室での小さなかわりが大きなかわりにつながることもあるため、児童生徒の話をよく聞き、関係する先生方と情報共有をしたり、いろいろな人につないだりすることが大切であることがわかりました。
- 今回の研修で一番大切だと感じたことは、児童生徒が安心できる居場所づくりを徹底することです。日々の声かけや表情、態度など小さなことが児童生徒との信頼関係構築につながっていくことを意識して、児童生徒と接していきたいです。
- 学級経営においては、学級全体の安心感や児童生徒一人一人との信頼関係を築くことの重要性を改めて感じる事ができました。そのためには、やはり児童生徒理解が重要であり、丁寧な児童生徒理解を心掛けていきたいと感じました。
- 初期対応の三原則が大切で、学校現場では日々様々なことが起こるため、問題が起きた際には迅速に対応すること、管理職に報告すること、そして相手の立場に立って真心を込めて対応することが大切だと気付くことができました。
- 研究協議で同じ臨採の先生方が抱えている問題や悩みについて話し合う時間は、自分にとって有意義な時間になりました。これらは明日の授業から実践できるヒントにもなりました。今日のことを振り返りながら自分が担任しているクラスに当てはめて、実践していきたいと思います。



(全体会の様子)



(授業についての研究協議)